

微生物学Ⅱ

Microbiology Ⅱ

薬：C2-08221MY

基礎科目 2年／後期 1.5単位 必修科目

科目責任者 杉田 隆(微生物学研究室)

■教育目的

感染症の病態、予防法および治療法を理解し考えられるようになるために、病原微生物学各論として主な感染症の原因となる細菌、真菌、ウイルスおよび原虫・蠕虫の特徴についての基礎を修得する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、SD-②】

■学習到達目標

1. 代表的な病原細菌とそれが引き起こす感染症を説明できる。(知識)
2. 代表的な病原ウイルスとそれが引き起こす感染症を説明できる。(知識)
3. 代表的な病原真菌とそれが引き起こす感染症を説明できる。(知識)
4. 代表的な病原原虫・蠕虫とそれが引き起こす感染症を説明できる。(知識)

■準備学習（予習・復習）

予習：感染症とその原因微生物について、日頃から関心を持ち予備知識を得ることを心がける。次回講義内容に該当する教科書ページに目を通しておく(20分以上)。

復習：教科書、講義資料などを見直して知識を整理し理解を深める(30分以上)。

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	細菌感染症各論 1	グラム陰性細菌による感染症(大腸菌等)	
2	細菌感染症各論 2	グラム陰性細菌による感染症(コレラ菌、緑膿菌等)	
3	細菌感染症各論 3	グラム陰性細菌による感染症(バクテロイデス等)	
4	細菌感染症各論 4	グラム陽性細菌による感染症(ブドウ球菌等)	
5	細菌感染症各論 5	グラム陽性細菌による感染症(クロストリジウム等)	
6	細菌感染症各論 6	アクチノマイセス属、結核菌等による感染症	
7	細菌感染症各論 7	マイコプラズマ、リケッチア等による感染症	
8	原虫・蠕虫感染症各論	原虫や蠕虫による感染症	
9	真菌感染症各論	アスペルギルスやカンジダなどによる感染症	
10	ウイルス感染症各論 1	DNA ウイルスによる感染症(ヘルペスウイルス科等)	
11	ウイルス感染症各論 2	RNA ウイルスによる感染症(レトロウイルス科等)	
12	ウイルス感染症各論 3	RNA ウイルスによる感染症(オルソミクソウイルス科等)	
13	ウイルス感染症各論 4	RNA ウイルスによる感染症(コロナウイルス科等)	
14	ウイルス感染症各論 5	肝炎ウイルスによる感染症	
15	まとめ	第 1-14 回の講義内容を総合的に復習する	

■授業分担者

A・B・C組 森田 雄二(No.1-3, 15)、松本 靖彦(No.4～8, 15)、杉田 隆(No.9～15)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験の成績(100%)で評価する。

■教科書

『第7版 薬科微生物学』 杉田隆、安齊洋次郎 編(丸善出版)

■参考書

『戸田新細菌学 改訂第34版』 吉田 眞一・柳 雄介・吉開 泰信 編(南山堂)